

突発的睡眠 について

編集協力:あべ神経内科クリニック 院長 阿部 隆志 先生

パーキンソン病治療薬を服用中の患者様へのお願い

パーキンソン病治療薬を服用中の患者様では、急に眠くなったり、何の前ぶれもなく眠り込んでしまったり、あるいは失神をおこしてしまうことがあります。これは、パーキンソン病の治療に使われるドパミン作動薬に共通の副作用のひとつです。このお薬をのんでいるときに次のような作業を行うと事故をおこす危険があるので、さけるようにしてください。

ドパミン作動薬をのんでいるときは、突発的睡眠(急に眠くなる、何の前ぶれもなく眠り込んでしまう)、あるいは失神をおこす可能性があるので、

高い所での
作業



自動車の
運転



危険を伴う
機械の操作



などの危険を伴う作業はしないでください。

突発的睡眠とは？

突然眠り込んでしまうことです。

会話や食事の最中などに、急に眠り込んでしまうことが特徴です。

眠り込んでしまう前に、眠気を感じることもありますが、そのような前ぶれなしに突然おこることもあります。

このような症状は、短時間で消失することもあります、長く続くこともあります。また、お薬をのみ始めて1年以上経過してからみられる場合もあります。

パーキンソン病の治療に使われる ドパミン作動薬に共通の副作用です。

「突発的睡眠」は、脳の指令を伝達する神経伝達物質のひとつであるドパミンの働きを補うためのお薬(ドパミン作動薬)に共通してみられる副作用です。

現在、のんでいるお薬の種類がわからないときは、主治医または薬剤師におたずねください。

急に眠くなったり、眠り込んでしまうなどの症状がでたとき、
あるいは失神してしまうことがあったときは、
すぐに主治医に相談してください。

製造販売元 [資料請求・問い合わせ先]

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

TEL : 0120-561-007 (9:00~17:45 / 土日祝日及び当社休業日を除く)
FAX : 0120-561-047 (24時間受付)
<http://jp.gsk.com>

RQXT0051-P1801N
2018年1月改訂